

# センターだより

第 201 号

2019. 4. 1

新潟市立総合教育センター

〒959-0492 新潟市西蒲区旗屋 585 番地 1

TEL0256-88-7444 Fax0256-88-7517

<http://www.netin.niigata.niigata.jp/>



## 研修から始める働き方改革

新潟市立総合教育センター  
所 長 小 川 裕 一

ここ 1～2 年、働き方改革の流れに沿って学校現場での仕事の仕方、教職員の時間の使い方が変化してきました。同時に、私たちの働き方に対する意識も少しずつ変わってきているように感じます。これまでになかった良い方向ですから、歓迎したい思いで一杯です。

私たちはどうしても、「子ども達に、わかった！できた！を経験させたい」とか、「この子の困り感を少しでも何とかしたい」というような思いが先行して、「時間も忘れて頑張ってしまう」という、ある意味、とても素敵なんだけれど、困った面があります。

「子どもたちの笑顔が何よりの喜びだ！」というところは、私たちの大切な原動力であり、忘れちゃいけない私たちの「誇り」ではありますが、こればかりは、どこまでも際限の無いことであり、難しいところです。

まあ、実際は、日々の業務やこまごまとした各種の対応などに追われ、「子どもたちの笑顔が何よりの喜び！」と思いつつも、時間的な余裕だけでなく、気持ちの面での余裕もなかなかもたなくなっているのが現状ではないでしょうか。そんな中であって、考えることと言えば、

- 「もっと、事務仕事を手早く片付けることができたらなあ」
- 「もっと、授業の計画や準備を効率的に短い時間ですることができたらなあ」
- 「もっと子どもたち同士の問題をうまく処理したり、トラブルを未然に防いだりすることができたらなあ」

といったようなこと、つまり「自分自身の教職員としての力を、今よりも高めたい、伸ばしたい！」ということではないでしょうか？

そのように思った時こそ、総合教育センターの各種研修講座や出前講座等を活用してください。豊富な研修ラインナップが皆様の参加をお待ちしています。（詳細は配布の研修案内（黄色本）をご参照ください）「スキルアップ」や「自分磨き」はもちろん、「業務効率改善」や「時間短縮」のお役に立つこともきっとあるはずです。

また、こうした研修を通して図られる、私たち自身の力量アップは、時間や能率に対する意識的なところも含め、働き方改革につながる面が大きいと考えます。

今、教職員の研修は、やらされる研修、やるべき研修から、自分のキャリアステージやニーズに合わせ、自分で求めて学んでいく研修へと転換してきています。ぜひ、自身の働き方を能動的に見直し、改革していくためにセンターの研修講座から始めてみませんか？

今年度も、総合教育センターは、「学び続ける教職員から活用されるセンター」を目指し、

- 1 各キャリアステージに応じた研修の充実
  - 2 細かいニーズに合わせた専門研修
  - 3 校内 OJT 研修や連携事業等を積極的に支援し、サポートする出前講座
- 等、充実した内容とスタッフで、皆様のお申込み、ご活用をお待ちしています。

10年前、平成21年の新潟市の新採用教員数は、41名でした。  
では、今年度の新採用者数は、何人でしょうか。

140人を超えます。そして、この先数年は同程度の新採用者が見込まれています。  
新潟市の教職員の年齢構成は一気に変わることになります。多くのベテランが去り、多くの若手が加わります。経験年数5年未満のいわゆる若手のいない学校は、ほぼなくなることでしょう。

若手が増えることで、各校は新鮮で活気ある雰囲気になるはず。それが、子どもたちに笑顔と活力を与えてくれると、容易に想像できます。

一方、教職員の構成が変わることで、何らかの課題が生じることもまた想定できます。

夢と希望だけでは、教職員の仕事は立ち行きません。経験をもたない若手は、授業について悩むことも生徒指導の事案に立ち止まってしまうことも、当然あることでしょう。

これまでベテランが担当してきたことは、この先、中堅どころが背負うこととなります。初めて経験する業務に戸惑うことも、若手の育成を担う重さに頭を抱えることもあるでしょう。

今後、新潟市の学校が直面するであろう状況に対応できる力を付けなければなりません。

総合教育センターでは、教職員の力を伸ばす研修を整えました。学び続ける教職員を全力でサポートしていきます。ぜひ、ご活用願います。

〈所長補佐 小林圭一〉



## 総合教育センターは、研修を通して 学び続ける教職員を全力サポートします!!

新指導要領について、まだまだ知りたいことがある…

校務分掌が変わったので、いろいろな情報がほしい…

### 新しい「研修講座」にご参加ください!

現代の教育課題に関わる最新の情報や実践について、講義や演習を通して実践的に学ぶ全181講座を編成しました。

指導主事による講座と併せ、国士舘大学 教授 澤井洋介 様、文部科学省 教科調査官 鳴川哲也 様、関西大学初等部 尾崎正彦 様、等、豪華な講師陣による講座も多数用意しております。

黄色い表紙の「教職員研修案内」から、皆さんのニーズに合う研修講座をお選びの上、お申し込みください。

講座の詳細は、研修案内p.18~58をご覧ください



受講したいけれど、  
学校行事で参加できない…

自分だけでなく、  
校内の多くの職員で  
同時に研修したい…

### 「出前講座」の活用を!

「出前講座」とは、当センターで開設している研修を中心に、指導主事が学校等に出向いて実施する講座です。昨年度は延べ83件実施しました。

- ・「ユニバーサルデザイン」「プログラミング教育」をはじめ、多様なラインナップをご用意しました。
- ・要請に応じて講座内容をアレンジいたします。申込みの際に、ご要望をお申し付けください。
- ・学校単位だけでなく、中学校区内の合同研修や教育関係団体からの要請にも対応いたします。

受付開始 4月5日(金) 詳細は研修案内の最終頁をご覧ください



授業の準備をする時間が足りない…

すぐに授業で使える教材・教具はないかなあ…

### 「学校で使える デジタルコンテンツ」をご利用ください!

当センターHPの「学校で使えるデジタルコンテンツ」では、例えば次のような、授業ですぐに使える様々なコンテンツを用意しています。

- ・「分度器の使い方」等の算数のフラッシュ教材
- ・ALTによるReading付きの外国語活動・英語授業で使える音声教材
- ・特別支援教育関連の研修講座で使用した教材・教具一覧
- ・市小研、中教研における優れた実践の指導案集

随時更新しています。ダウンロードして授業や研修にご活用ください。



### 講座申込みと受講について

#### 研修申込み

- ・個人での申込みはできません。各校でまとめて、当センターのホームページよりお申込みください。
- ・入力期間は、4月10日(水)～4月24日(水)です(期間外の申込みはできません)。
- ・受講の可否は、5月13日(月)に配信するメール「受講可否決定のお知らせ」でご確認ください。

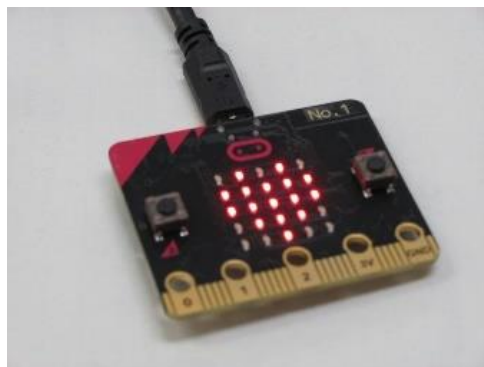
#### 受講

- ・受講可となった研修について、後日改めて案内することはありません。
- ・やむを得ず欠席となる場合、管理職から当センター所長補佐までご一報ください。
- ・駐車場に限りがあるため、同一校での相乗り等をお願いする場合があります。

研修申込みに関する問い合わせ先： センター企画情報部 小竹 0256-88-7444

# micro:bit を貸し出します！

プログラミング教育用教材「micro:bit」を40台導入しました。プログラミング教育の研修会でも紹介しましたが、25個のLEDの表示をコントロールする簡単なプログラミングを体験することができます。理科の授業や校内研修等でご活用ください。貸し出しを希望される場合は当センターの情報教育担当へ電話かメールでお申し込みください。



## 植物資料室が移転しました

平成31年4月1日より新潟市総合教育センター植物資料室は、新潟市東地域保健福祉センター（住所：新潟市中央区明石2丁目3番25号）の3階に移転しました。新潟駅に近くなり、より来室しやすい環境になると考えております。職員は今まで以上にがんばっていきますので、今後とも一層のご支援の程、よろしくお願ひ申し上げます。



## 植物資料室から シリーズ <四季折々の植物>

### スマレサイシン

(スミレ科スミレ属) 学名 < *Viola vaginata* >

山地の林内に生えるスミレ科の多年草で、主に北海道の西南部や本州の日本海側に分布しています。和名は葉の形がウスバサイシンに似ていることから名付けられました。

茎はすべて地下茎で、太くて節が多く、横に伸びます。葉はハート形で、長さ4～7cmで、花の時期には小さく完全に開いていないことが多く、花の後、開いて大きくなります。花は淡紫色で直径2～2.5cm、距（花の後ろの袋状の部分）は太く短く、長さ4～5mmです。



地上の茎がないため、花も葉も地面から直接立ち上がってくることで、スミレの仲間としては、花や葉が大型であることが見分ける特徴です。太くて長い地下茎は、トロロにして食用にされることからトロロスミレと呼ぶ地方もあります。

※センターHPの「植物資料室」検索用データベースにカラー写真が載っていますので御覧ください。